

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10050050

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	6	下水道事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成32年度迄 全体事業費C=875,000千円 ・平成30年度 MICS施設詳細設計 ・平成31年度～平成32年度 MICS施設建設工事(土木・建築・機械・電気)
基本施策	17	上・下水道の整備	事業優先度	A		
単位施策	2	下水道の普及促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	汚水処理施設共同整備事業(雄武町MICS事業)					
事業期間	平成28年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	事業採択に向けた協議、下水道事業計画変更、施設基本設計					
事業目標	事業採択、2業務					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	10 建設水道課		
			関係課	4 住民生活課		
			ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	・MICS事業採択に向けた協議 ・下水道事業計画変更 ・MICS施設基本設計				・MICS事業採択に向けた協議	・下水道事業計画変更 ・MICS施設基本設計
計 画 事 業 費	事業費(千円)	13,682	0	0	0	13,682
財 源 内 訳	国庫支出金	6,841				6,841
	道支出金	0				
	地方債	800				800
	その他	6,041				6,041
	一般財源	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	12,896	0	0	0	12,896
財 源 内 訳	国庫支出金	6,448				6,448
	道支出金	0				
	地方債	700				700
	その他	5,687				5,687
	一般財源	61				61
関 連 事 項	特定財源の名称 ◎国庫支出金 ・社会資本整備総合交付金 1/2 5.5/10 ◎地方債 ・下水道事業債 100% ・過疎債 100% ◎その他 ・一般会計繰入金	【評価・実績】	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等) ・MICS事業採択に向けた協議  ※事務事業評価結果 A-継続/内容の見直し・変更	(実施内容等) ・下水道事業計画変更 ・MICS施設基本設計  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値			事業採択	2業務
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	94%
		全体達成率	0%	0%	0%	94%
		事業進捗状況				

事業名	汚水処理施設共同整備事業(雄武町MICS事業)	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	下水道係長	下斗米 勇

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	興部町、西興部村及び雄武町のし尿等処理	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	発注業務件数								
【抱える課題やニーズは】	西紋別地区環境衛生センターの老朽化に伴い、施設の建設コスト及び維持管理面で優れていることから、興部町、西興部村及び雄武町のし尿等を雄武浄化センターで集約処理する必要性が生じた。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	興部町、西興部村及び雄武町のし尿等の安定処理	① 発注業務件数(目標値)/発注業務件数(実績値)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	2件	実績値	2件	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	2件										
実績値	2件										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	興部町、西興部村及び雄武町のし尿等を雄武浄化センターで集約処理するための前処理施設の建設	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成29年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	下水道事業計画変更の実施	国からのMICS事業採択を受け、下水道事業計画にMICS事業計画を登録するため協議を行い事業計画変更を実施した。									
	民間業者による基本設計の実施	入札により民間業者にMICS施設基本設計委託業務を発注し建設予定施設の基本設計を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	興部町、西興部村及び雄武町のし尿等を安定処理するためには、2町1村のし尿等を受入可能な雄武町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	事業計画変更及び基本設計を同年度に実施したことにより事業スケジュールを短縮したため目標を達成したと考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事業スケジュール短縮のため、北海道担当者と事前調整等を行い時間短縮を図り効率的に事務事業を進めたと判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	興部町、西興部村及び雄武町のし尿等を集約処理する施設であるため、人口割及び投入割で施設建設費用を負担するため、公平であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
興部町、西興部村及び雄武町のし尿等を安定処理するためには必要な事業であり、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
MICS施設については、し尿等を安定処理するために必要な事業であるため現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止